

第1回未来教室 目黒区立東山中学校

- 1、学校名 目黒区立東山中学校
校長 牛島 正廣 (副校長 金子 弘樹)
- 2、住所 目黒区東山1-24-31 最寄り駅 都営 三田線 中目黒駅 徒歩15分
Tel (3711-8794) FAX (3711-8896)
- 3、開催日時 平成23年9月17日(土) 午前11時30分頃より45分程度
- 4、実施学年 1年生~3年生 15クラス
- 5、テーマ 「生き方教室」
- 6、目的 地域の方や先人とのかかわりを通して、人の生き方や地域・学校の歴史を学ばせる。
- 7、講師 及び 演題 各学級1名の講師(1~3年各5名) 合計15名
 - 1A 重永憲明(会社役員)「スカイツリー」
 - 1B 吉田隆恭(元日本コロンビア取締役)「夢を追って」
 - 1C 加戸利圓(住職)「心にのこるチョットいい話し」
 - 1D 陣内大蔵(シンガーソングライター・牧師)「僕と歌と教会」
 - 1E 奥川一臣(学校警備)以上学校推薦 以下NPO法人おやじ日本依頼者
 - 2A 岩佐豊(元ダイヤモンド社社長)「**私が考える仕事の基本**」
 - 2B 小寺圭(元ソニーチャイナインク会長)「中学生の時のあの悩みって何だったのか」
 - 2C 川村敏郎(元NEC副社長)「私が大切にしていること」
 - 2D 池田文夫(元佐川印刷取締役)「**僕が生まれ育ったFUKUSHIMA**」
 - 2E 斎藤勝幸(光通信顧問)
 - 3A 小川理子(パナソニックKKグループマネージャー)「**夢に向かう原動力**」
 - 3B 横川亘(パナソニックKK戦略推進室室長)「**皆さんに期待すること**」
 - 3C 松吉徹也(パナソニックKK教育担当主事)「**オヤジ世代から伝えたいこと~君は限界を見たか?~**」
 - 3D 三ツ橋明子(JTBマネージャー)「**中学生と社会人の間にあること**」
 - 3E 柳原明人(インテルKK教育プログラム推進部)「**目標をもつことの重要性について**」
- 8、その他 授業終了後給食試食会



↑ 校長室にて講師の皆さまと打ち合わせ中

↑ 授業風景



目黒区立東山中学校「生き方教室」に参加して

特定非営利活動法人おやし日本 未来教室
学校と企業との連携担当 池田利美

2011・9・17

おやし日本の学校と企業との連携担当として、この活動に参画させてもらってまだ2週間。真っ白な気持ちで東山中学校に向かいました。

「生き方教室」各教室1～2分くらいしか見られませんでした。それぞれに特徴ある、また、工夫された授業が行われており、何ととってもそれぞれの先生方の熱心さを肌で感じることができました。

社会に触れる場を学校教育の中に組み込んでいくことの意味は大きいと思います。

私の子供3人の内2人は介護関係の仕事に携わっています。

これも小さい時から、私の祖母や両親を近くで見てきたからかもしれません。子供たち1人ひとりが「生き方」を見つけられる手助けをできるかもしれない、そんな仕事に携わらせてもらえることに感謝するとともに、少しでもお役にたてればと改めて感じました。

目黒区立東山中学校の「生き方教室」

東京都目黒区立東山中学校PTA会長 楠本岳志

みなさま、はじめまして。本校は目黒区北部の閑静な住宅地に位置し、生徒数は約460名、各学年5学級と、区内では最も規模の大きい区立中学校です。「つよく かしこく あたたかく」を目標に、学校・家庭・地域社会が連携して子どもたちを育てています。

本校独自の取組として、地域や各界から講師を招いて授業をしていただく「生き方教室」があります。去る9月17日の生き方教室には、おやし日本のコーディネートで、第一線でご活躍の10名もの方々を、2・3年生のクラスに講師として派遣していただきました。

講師の先生方の豊富なご経験をお話いただくには、45分の授業では短かったようでした。子どもたちも、盛りだくさんで少々難しい内容に圧倒され気味で、理解しきれなかったかもしれません。

それでも、豊富な経験に裏打ちされたお話の重みは、子どもたちにまだ見ぬ世界の広さや人生の可能性、奥深さを感じ取らせてくださったと思います。将来、人生の岐路に立ったときには、今回の授業の意味をより深く知ることでしょう。また、親、特に父親が自分の経験体験をしっかりと子どもに伝えることの大切さを感じる授業でした。

最後になりましたが、今回、親子ともに貴重な機会を与えていただきましたことに対しまして、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。